

平成 26 年度

第 5 回柳川市観光まちづくり推進委員会

及び市長提言意見交換会 報告書

■と き 平成 26 年 12 月 25 日 14:00～16:00

■ところ 柳川市役所 庁議室

★第5回柳川市観光まちづくり推進委員会

1 開会

(松藤観光課長)

2 会長あいさつ

(千会長)

- ・本日に至るまでご協力いただきありがとうございます。
- ・皆様のご協力のおかげで提言書の成案ができました。これを実行する上でのアドバイスを本日はお願いします。

3 第4回委員会の議事の確認

- ・議事録に関して特にご意見なし。

4 議題(1)

(事務局)

- ・提言書に基づき説明

(千会長)

- ・計画で終わらせるものではございませんので、実行していく上でのご意見をお願いします。

(坂田委員)

- ・ワンストップサービスの部分でどのような人材が担っていくのかが大事だと思います。そのような人材をどのように柳川に招致していくのか、若しくは育成していくのかを考えていくことが求められている。

(千会長)

- ・成案に至るまで皆様からたくさんのご意見をいただきました。
- ・本日の会議をもって提言書として確定させていただきます。ありがとうございました。

5 閉会

★市長への提言及び意見交換会

1 開会

(松藤観光課長)

2 委員の皆様の自己紹介

(園委員)

- ・インバウンドの観点で色々とお話しをさせていただきました。
- ・昨年九州に海外から125万人の入国者がありました。今年も10月現在で130万人の外国人が入国されています。
- ・柳川にもたくさんの外国人の方がお見えになって、楽しんで頂けるような環境作りをしていただきたいと思います。ぜひ、テーマを持った観光まちづくりを実行していただきたいと思います。

(高橋委員)

- ・九州運輸局さんと連携し、インバウンドを進めております。
- ・九州の場合は韓国、中国といった海外だけではなく東京、大阪の国内のお客さまもインバウンドとしてとらえて誘致活動を展開しております。
- ・九州7県で連携して誘致活動を展開しておりますが、川下りのような特色のあるコンテンツを前に出して勝負をしております。
- ・今回、観光まちづくりの提言づくりに参加させていただきましたが、ぜひ、提言だけで終わらず実行に移していただきたいと思います。

(中島委員)

- ・現地を大事にしたいのですが、何度もこのように足を運ばせて頂いたのは柳川市が初めてでした。
- ・今回、本当に何回も柳川にお邪魔させていただきましたがまだまだ知らない柳川がたくさんございました。
- ・福岡県の一番のブランドでございますので我々も一生懸命頑張っていきますのでよろしくをお願いします。

(山方委員)

- ・福岡市、太宰府、久留米市、柳川市などで協議会を立ち上げ、インバウンドや修学旅行の誘致に一緒に取り組ませていただいています。
- ・以前、JNTOのソウル事務所の方数名と柳川にお邪魔した時に金子市長から手厚いおもてなしを受けました。おもてなしのレベルが高いと思います。JNTOの方も柳川にお連れするとまちがないと言っております。
- ・福岡市にない魅力がたくさん柳川市さんにはございます。今後も連携してインバウンドの誘致など展開していければと思います。

(帆足委員)

- ・柳川にはたくさんのすばらしい資源がございます。国内外問わず、特に関東圏や福岡市内の女性の方向けに見せ方を工夫するだけで情報発信ができると思います。

・筑後地区の連携も進んでいると思いますが、私自身も定住促進の取り組みに関わらせていただいておりますが、観光事業も含めて継続できるようにお願いします。

(清澄委員)

- ・女性向けに様々な情報を発信しています。
- ・女性200名が参加される観光エキスポを開催させていただいており、九州から14ブースの出展がございますが、柳川市さんが毎回一番人気でございます。
- ・観光のプロではございませんが、観光客側の目線からご意見を述べさせていただきました。
- ・今回の提言が実行に向かうことを願っております。

(石橋副市長)

- ・会議ではメンバーの皆様に貴重なご意見をたくさんいただき、有意義な会議だったと思います。
- ・今後は、しっかり皆様の気持ちを形にしていきたいと思います。

(高橋努武委員)

- ・提言書をどのように実行していくかが一番大切だと思います。
- ・実行していく上で、観光課と観光協会が基軸となって取り組む必要があると思います。連携をしていきながら進めていきたいと思っています。

(富安委員)

- ・お客様からの生の声を意見として発言させていただきました。ぜひ、実現していただきますようお願いいたします。

(山田委員)

- ・柳川市以外の専門の方々のご意見を聴かせていただき、私自身も大変勉強になりました。
- ・今後は、実現に向けて考えながら取り組んでいきたいと思っています。

(垣外委員)

- ・今回の会議で改めて柳川の掘割の素晴らしさを感じました。

(風間委員)

- ・今回の会議で専門の方々から貴重なご意見をいただき、私自身も大変勉強になりました。
- ・フィルムコミッションの担当をさせていただいておりますので、ロケツーリズムを先行に立って頑張っていきます。

(坂田委員)

- ・若者がどういうところに柳川の魅力を感じているのか、また、担い手をどのように引っ張ってくるのかを考えていきたいと思っています。

(大野委員)

- ・お客様には、柳川のイメージと商品が重なって購入していただいています。
- ・実行していくことが大事だと思います。我々もそのために頑張っていきます。

3 提言内容の説明

(千会長)

- ・視点の一つとして攻めを重視した内容になっております。
- ・お客様の期待と裏切らない、質を高める視点で整理をしています。
- ・課題を分析した上で、今後4年間に集中的、優先的に取り組んでいく柱を4つ整理しました。
- ・一つは「水郷柳川のブランド構築」。柳川に対する期待は極めて高いと思います。九州のブランドにもなる資源だと思います。
- ・次に、ブランドを構築するためには交流人口を増やす必要があります。そのために有効なマーケットとターゲットを設定し、「交流人口を増やす」とともに、「満足度を高め、質を高める」ことが三つ目です。
- ・最後が、地域全体が一体となって推進していくための「ワンストップ組織の確立」です。
- ・今回の提言書が計画で終わるのではなく、実践できるようにしていただきたいと思います。その際には、九州、福岡との連携、県南地域との連携も視野に入れて取り組んでいただきたいと思います。

4 市長挨拶

- ・12月26日に定例記者会見がございますが、平成26年の市制の10大ニュースの中に観光に関するものが4項目ほどあります。
- ・トップは「水郷柳川」が国指定名勝の答申を受けたことです。
- ・観光客が124万5千人と7年ぶりに120万人台に回復したこともございます。
- ・おもてなしの日本一を目指して取り組んでおります。オール柳川で取り組んでいきたいと思っております。
- ・今回はメンバーの皆様から重みのあるご意見をいただきありがとうございました。
- ・10年ぶりに観光ポスターを製作しました。観光ポスターのコンクールにも提出しています。
- ・来年は、白秋先生の生誕130年でございまして、サミットを予定しています。
- ・NHK本社を訪問して朝の連続ドラマの誘致活動を行ってきました。
- ・これからも観光協会と一緒に活動していきたいと考えております。一過性の150万人ではなく、継続していける取り組みをしていきたいと思っております。
- ・柳川は米、麦も県下で第1、2位の生産量であり、海苔も全国2位の生産量であります。うなぎはもちろんですが、そのほかの食文化も発信していきたいと考えております。
- ・柳川のために頑張って取り組んでいきます。

5 意見交換会

(坂田委員)

- ・実行していくことが大事だと思います。
- ・ワンストップ組織を立ち上げるにあって、リーダー、プロデューサー、オペレーターをマ

ネージメントする人をどのように招致、育成していくかが大事だと思います。

・柳川の川下りで「花嫁舟」は素晴らしいと思います。香港、上海、台湾の方々はウエディングにはお金をかけて思い出をつくりたい。柳川市でも福岡市と連携し、PRすることで相互のコンテンツを発信できます。

・タイの有名なドラマでも「花嫁舟」が撮影されて、放送されるので、人気が出ると思います。

(風間委員)

・タイのドラマは平成27年3月から放送開始と聞いています。

・柳川の川下りを題材にした10分のショートムービーがありますが、アクセス件数が1万回を超えています。お姉さんの花嫁舟を妹が船頭をしていく物語です。柳川市のホームページにもアップしていますので、見ることができます。

(帆足委員)

・ウエディングフォトツアーは旅行会社で販売しているので、お客さまも買うことができますので、すぐにでもアクションを起こすことができます。

・提言書の事業の中でも「選択と集中」の道筋を決めて実行していただきたいと思われ、ぜひ実行の部分もお手伝いしたいと考えています。

・何ができたかが大事だと思いますので、PDCAのサイクルを意識して実行していただきたいと思われ。

(風間委員)

・ドラマ誘致に関してですが、柳川市としてもがんばっていきますが、九州、福岡の皆様の協力を頂かないと実現が難しいと思われ、ぜひ皆様のご協力をお願いします。

(中島委員)

・福岡県も大河ドラマ、朝ドラの効果がございました。観光庁の宿泊統計データで対前年比で1月～9月までで100万人以上の伸びがありました。これは、全国で3位の伸びでした。

・メディアの露出は無視できないと思われ。12月にフィルムコミッション事業を立ち上げて来年度に向けて実施していきます。民間事業者と連携して展開していきます。

(金子市長)

・県庁のロビーに柳川の観光ポスターを展示していただいておりますし、国土交通省の玄関ロビーにも柳川のポスターを展示していただいております。

・前回の提言書の中に「堀守」の組織化をいただきましたが、まだ組織化はできておりませんが、水落期間中に「クリーンアップ大作戦」と称して、市民総出で清掃活動を行っております。

(富安委員)

・観光協会として実行する立場にありますので、頑張っていきます。

・一つだけご相談がございりますが、広域連携の中で民間との交流の場面を設けていただきたいと思われ。民間同士の交流の場所をお願いします。

(金子市長)

・筑後市にソフトバンクホークスのファーム誘致がございますが、筑後7国として色々な形で連携をとりながら取り組んでいきたいと思ひます。

(高橋委員)

・広域連携は他の観光地を利用することだと思ひます。福岡県だけではなく佐賀空港ともうまく連携できると思ひます。

・旅館の朝ごはんは大事だと思ひます。海苔も袋に入っているものではなく、1枚そのままを出すと印象に残ると思ひます。朝ごはんは観光地で最後に食べる食事になりと思ひます。

(坂田委員)

・個人向けのコンテンツは重要になると思ひます。台湾の方も個人客が大幅に増えてきています。20代、30代の女性に受ける柳川の魅力を打ち出していくことが必要です。

(金子市長)

・台湾からの大型客船の受け入れや九州市長会などでの市民挙げてのおもてなしをさせていただき、お客様は皆さん満足されておりました。また、白秋祭水上パレードも毎年開催させていただきますが、乗船された方が皆さん「子どもたちのこんばんはの挨拶」が一番うれしいとおっしゃっていただきます。このようなことがリピーターにつながっていくと感じています。

(高橋委員)

・JR九州も「観光列車」を走らせていますが、宮崎県の飫肥で走らせている「海幸山幸号」がありますが、一番印象に残ったのは、飫肥の子どもたちが挨拶をすることです。そのことで、この町はいい街だと思ひました。

・七ツ星でもお客様が一番喜ぶのは沿線で市民の皆さんがお出迎えをしていただくことです。

(金子市長)

・観光にとって「心の交流」は必要だと思ひています。

(山田委員)

・市民に対して、おもてなしをもっと分かりやすく発信できないかと考えています。先程、高橋委員からお話しがございましたが、身近なことでもおもてなしにつながるということを知っていただくこともおもてなしの取り組みにつながっていくと思ひます。

・おもてなしについて、何をしたいのか分からないといった声を聞きますので、お客様に対するお声かけでもおもてなしにつながるということを知っていただくことが必要だと思ひました。

・お客様の誘致も一生懸命やっていく必要がありますが、同時に受け入れ態勢も今まで以上に充実していくことが大事だと思ひました。

(金子市長)

・「できる人ができることから」をモットーに皆さんに頑張ってもらっています。

(清澄委員)

- ・柳川が大好きで年に一度は訪れています。
- ・市民の皆さんは水郷の魅力に気づいていない方がたくさんいらっしゃるかもしれません。外から見たときに柳川のまちは素晴らしい、水郷にも素晴らしい魅力がありますといったことを市民の皆さんに知っていただくことで、自信や愛着につながるのではないかと感じております。

(山田委員)

- ・観光協会に苦情の電話がございます。中には全く同じ内容の苦情があることもございます。改善されているとは思いますが、苦情があった内容に対して改善できることは改善していくことが大事だと思います。

(金子市長)

- ・できることは改善しておりますが、時間がかかる内容もございます。できるだけ迅速に対応していきたいと考えております。

(高橋努武委員)

- ・観光課と観光協会と月1回情報共有の場面を設けております。
- ・船頭さんの育成に関して早速実施を行っていく予定です。

(大野委員)

- ・柳川は写真に撮りたくなりたくなる街だと思います。これからは、写真を撮りたいまちから写真を発信したいまちになることが必要だと思います。

(團委員)

- ・ウエディングフォトツアーですが、市としてリーガルウエディングに対応いただけるよう検討いただきたい。結婚記念日になりますし、また、結婚証明書を市から発行されることで柳川訪問の時間がふたりにとって結婚記念日になりますし、そこでストーリーが生まれると思います。
- ・これからはストーリーが重要と考えます。ストーリーがあれば次につながると思います。
- ・地元に来て、地元でしかできないことを体験して、地元の人と交流し、地元の歴史を聞いていくといったストーリーも大事だと思います。
- ・柳川にはやまと競艇学校がございます。全国にひとつしかない学校ですので光る観光資源にもなりうると思います。折角ですので活用をご検討下さい。

(川口氏)

- ・福岡にもボートレース場がございますので、これを観光資源として活かさないかと色々検討をしております。
- ・福岡市としても広域的に取り組んでいく必要があると感じており、縦のラインで考えると太宰府、久留米、柳川がございますが、今後は大牟田も含めた取り組みを検討しております。
- ・おもてなしといった部分では、柳川市の皆さんはすごくレベルが高いと感じております。11月に白秋祭水上パレードに乗船させていただきました。たくさんの催しがございましたが、最後に皆さんは途中の歓迎が一番印象に残っているとおっしゃいます。地元の食やいいものを見せることもいいと思いますが、最後は地元の方々のハートだと思います。

した。

(帆足委員)

- ・提言後の動きは何かで情報発信されますか。選択と集中でこの事業は実施できたが、この事業はできなかったといった情報を知りたいし、何かお手伝いできることはやっていきたいと思います。

(清澄委員)

- ・ウェブ上で流れていくこともいいと思いますが、市民の皆さんが読める言葉で分かりやすく市政だよりなどで発信するとより、自分ごとになると思います。
- ・市民こそが柳川の観光大使だと思います。

(山田委員)

- ・皆さんの体験談やこんなこともおもてなしにつながりますといったことを市民の皆さんに伝えることが今後のおもてなしの活動につながると思います。

(高橋委員)

- ・観光に関する学生の研究発表会が韓国釜山でございまして、今回一番いい賞をとった学生が韓国の学生ですが、テーマが「柳川」でした。ぜひ、ご覧ください。

(千会長)

- ・「人」の大切さを実感しました。マーケティングで自分が受けた経験で良かったものと悪いものがございますが、いい経験は5人の方に話すといわれています。逆に悪い経験は9人に伝えるといわれています。いいイメージを与えることは大事ですが、それ以上に悪いイメージを伝えてはいけないと思います。
- ・発言の中で「写真を取りたくなるまち」から「発信したくなるまち」へといった話がありましたが、これが5人に伝えたいくなるまちにしていくことが必要だと思います。
- ・悪いイメージは、何かいいイメージが一つでもあればすべて忘れます。資源を大事にすることも大事ですが、それをサポートする地元住民も大事だと思います。地元向けの発信も強化することが求められています。

(石橋副市長)

- ・選択と集中で重要なものからやっていきたいと思います。
- ・庁内連携して取り組んでいきます。
- ・本当にありがとうございました。